

三角関数のグラフ (1)

～ 三角関数のグラフの基本 ～

講師
矢作 裕滋

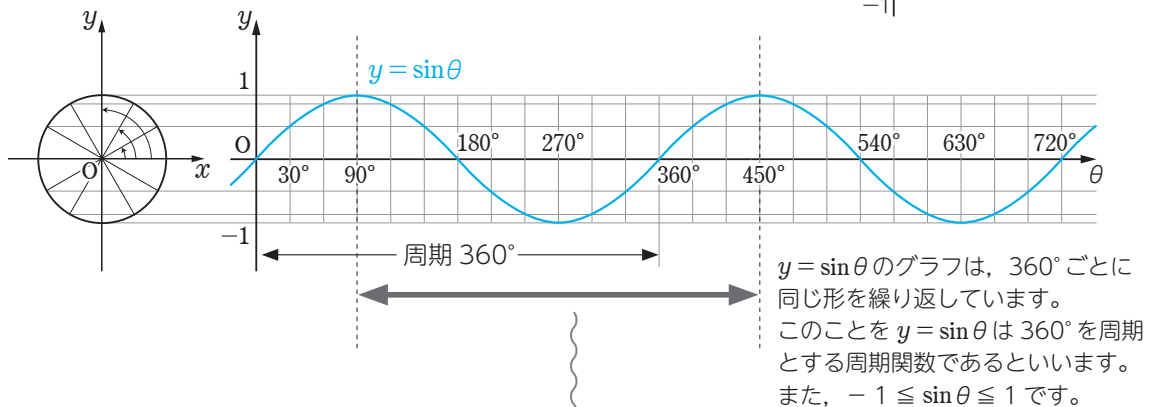
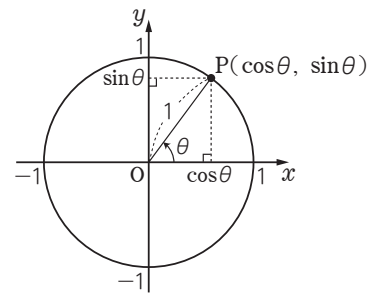
学習のポイント

三角関数の値は、角 θ の値によって変化します。
ここでは、三角関数のグラフをかいて、
その特徴を学びましょう。

- ① $y = \sin\theta$ のグラフ
- ② $y = \cos\theta$ のグラフ
- ③ $y = \tan\theta$ のグラフ

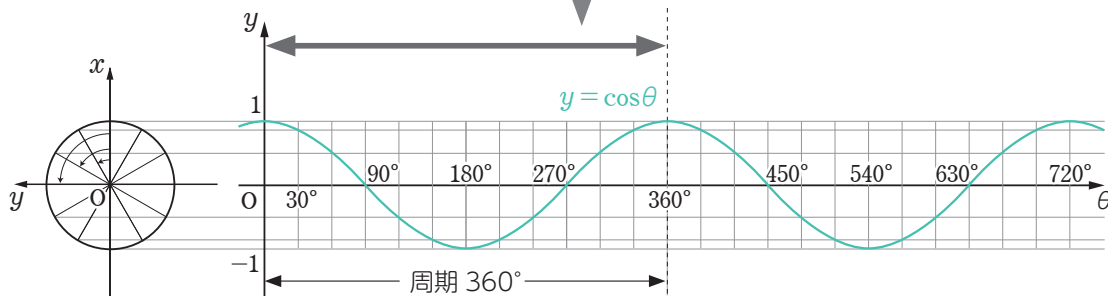
1 $y = \sin\theta$ のグラフ

単位円と角 θ の動径との交点Pの座標は、
($\cos\theta, \sin\theta$)です。
すなわち点Pの y 座標が $\sin\theta$ であることから、
 $y = \sin\theta$ グラフは次のようになります。



2 $y = \cos\theta$ のグラフ

$y = \sin\theta$ のグラフの場合と同様に考えると
点Pの x 座標が $\cos\theta$ であることから
 $y = \cos\theta$ のグラフは、次のようになります。



$y = \cos\theta$ も 360° を周期とする周期関数です。また、 $-1 \leq \cos\theta \leq 1$ です。

